

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 51

21.1.25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505



これで安心、耐震化工事が竣工

小千谷市にはガスホルダーが2基山谷地内にあります。昭和52年度(写真左)と58年度に築造され、球形の直径は21.3mで1基に5,000 m^3 のガスを貯蔵することができます。

昭和35年の9月にガスの供給を開始してから3回に亘る熱量変更(高カロリー化)を行い、平成19年1月からはガスの卸元から直接受けたものにガス臭を付けて(天然ガスは無臭のため)、ここから各地区へストレートに供給をしています。

このガスホルダーは、平成16年の新潟県中越大地震によりホルダーを支える脚柱や基礎杭が被害を受けたことから、これらの復旧と併せて震度7に対応する耐震化を図るため、平成18年度から3カ年継続工事として進め、このほど完成をしました。

これにより引き続き市民生活に不可欠なライフラインとして安定したガスの供給が確保されました。

- 年頭のごあいさつ …… P 2
- 議決結果 …… P 2～3
- 常任委員会報告 …… P 3～4
- 一般質問 …… P 4～8
- 行政視察報告 …… P 8～9
- 雪あかり …… P 10

—主な掲載内容—

年頭のごあいさつ



吉原正幸議長

新年あけましておめでと
ございます。

昨年は幸いにも小千谷市で
は大きな災害の発生もなく、
市民の皆様には、健やかに新
年を迎えられた事と謹んでお
慶び申し上げます。

議会では昨年六月の市議会
第二回定例会より、本会議の
模様をインターネットで生中
継することといたしました。
議会の活動を市民の皆様にて
きるだけお知らせするよう、
今後も努力してまいります。
小千谷市のホームページから
アクセスできますので議会展
等とあわせてご覧いただきま
すようお願いいたします。

また一昨年のサブプライム
ローンの問題に端を発し、昨
年九月のリーマンブラザース

の破綻による米国発の世界的
不況の影響は、当市にも深刻
な影響を与えつつあるようで
すが、市議会としましても市
が専決処分に対応したいとし

た「中小企業緊急経済対策資
金」に、十一月二十五日の議
員協議会です承し、貸付枠十
億円が不足することが確実と
なった第四回定例会市議会開
中の十二月十九日議員協議会
で、貸付枠を二十五億円に拡
大し専決処分に対応したい旨
の説明を受け、市議会としは
むしろ積極的に対応すべきと
した意見を添えて了承いたし
ました。

事業主の皆さんも、従事す
る大勢の皆さんも不安な日々
のことと心痛いたしております
が、小千谷市は他地域に誇
れる卓越した技術をもつ産業
がしっかりと定着しております。
グローバル化等の横文字
に踊らされ機械の中でマネー
ゲームが氾濫した末路が前述
のとおりであります。どんな
時代にあっても高度な技術力

をもてば業種を問わず生き残
れると確信します。「春の来な
い冬はなし」の言葉を信じ、
またがまん強い小千谷人の市
民性に期待申し上げ、一日も
早く温かい日差しが差し込ん
できますことをご祈念申し上
げます。

今年の干支は己丑（つちの
とうし）です、遅くとも確実
な牛のような歩みが大切にな
る年かと思えます。

本年も市民の皆様が健康で
明るくお過ごしできますよう
祈念いたしまして、年頭のご
挨拶とさせていただきます。



平成二十年小千谷市議会 第一回臨時会 議決結果

その他

○財産（不動産）の取得
（全会一致）

平成二十年小千谷市議会 第四回定例会 議決結果

条例の改正

- 小千谷市税条例の一部を改正する条例（全会一致）
- 小千谷市立学校設置条例の一部を改正する条例（全会一致）
- 小千谷市下水道条例の一部を改正する条例（全会一致）
- 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例（全会一致）

予算の補正

- 平成二十年小千谷市一般会計補正予算（第四号）
（起立多数）
- 平成二十年小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第三号）
（全会一致）

- 平成二十年小千谷市下水道特別会計補正予算（第二号）
（全会一致）
- 平成二十年小千谷市農業集落排水事業特別会計補正予算（第二号）
（全会一致）

- 平成二十年小千谷市介護保険特別会計補正予算（第二号）
（全会一致）

- 平成二十年小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第一号）
（全会一致）
- 平成二十年小千谷市ガス事業会計補正予算（第一号）
（全会一致）

- 平成二十年小千谷市水道事業会計補正予算（第一号）
（全会一致）

- 平成二十年小千谷市工業用水道事業会計補正予算（第一号）
（全会一致）

その他

- 専決処分（平成二十年小千谷市一般会計補正予算（第三号））
（全会一致）
- 公共施設の相互利用に関する協定書の一部変更
（全会一致）
- 介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の改善を求める請願
（全会一致）
- 郵政民営化法案の見直しに関

する請願 (起立少数)
●C型肝炎被害者の救済に関する意見書採択の請願 (全会一致)

発議

●介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の改善を求める意見書 (全会一致)
●C型肝炎被害者の救済に関する意見書 (全会一致)

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました案件は議案三件、請願一件でありました。議案百号については三常任委員会連合審査会といたしました。審査の結果を報告いたします。

○議案第九十七号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

本案は、市民税の寄附金税額控除対象の拡大及び公益法人制度改革に伴い、改正したいとするものです。対象となる市内法人について質疑がありました。全員異議なく可決すべきものと決しました。

○議案第九十八号 小千谷市立

学校設置条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。本案は、平成二十一年四月一日から山谷小学校が小千谷小学校に統合することに伴い、改正するものです。南部地域の学校再編構想の早期具体化について質疑がありました。全員異議なく可決すべきものと決しました。

○議案第百号 平成二十年度一般会計補正予算(第四号)について申し上げます。

本案は、小千谷小学校改築に係る継続事業の前倒し、東小千谷小学校及び市民学習センターの用地購入費、職員人件費並びに修繕等緊急を要する経費について、予算補正するものです。

連合審査の過程では熱心な質疑が交わされました。討論において、住民税の年金天引には反対であり、その処理を行うための市税電算処理委託料を盛り込んだ本補正予算に反対する。としたものと、国庫補助事業の前倒しによる校舎耐震補強工事、谷小改築工事が盛り込まれており賛成する。並びに不況の中、法人市民税で補正減がされており、個人市民税においても徴収の面で影響が出てくると心配するが、徴税に係わる職員に徴収

の確保について努力いただくことを添えて賛成する。としたものがありません。採決の結果、起立多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

○請願第七号 郵政民営化法案の見直しに関する請願について申し上げます。

本請願は、郵政民営化の見直しを求める意見書を関係行政機関に提出していただきたい、とするものであります。

郵政民営化法の国会附帯決議、政府の郵政株保有の効果、民営化に伴うサービスの变化、市内、県内の郵便局の減少の状況、体質の改善の必要性等について質疑が交わされました。

意見としては、請願趣旨中「国民のためにならない現在の郵政民営化法」という表現は一考すべき。国会附帯決議を守るという趣旨は理解できるとしたものがありません。討論としては、実情は理解できないわけではなく、郵政民営化は成っており、国会の附帯決議にも三年毎の見直しの事項もあることから、今回は採択すべきでないと考え、としたものがありません。

採決の結果、起立少数で不採択とするものと決しました。

社会土木委員会

本委員会に付託されました議案六件を慎重に審査をし、原案のとおり可決すべきものと決しました。請願二件についても全員異議なく採択すべきものと決しました。

○議案第九十九号 小千谷市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

流域下水道処理場管理者の新潟県が、製造業等からの汚水排水基準を緩和することに伴い改正するというものであります。

○議案第百一号 平成二十年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第三号)について

既定の歳入歳出予算の総額からそれぞれ七十三万六千円を減額するというものであり、減額の主なものは、職員人件費であります。

○議案第百二号 平成二十年度小千谷市下水道特別会計補正予算(第二号)について

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ五百四十四万二千円を追加するというものであります。追加の主なものは、職員人件費であります。

○議案第百三号 平成二十年度小千谷市農業集落排水事業特別

会計補正予算(第二号)について

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ二百八十五万二千円を追加するというものであります。追加の主なものは、処理施設等修繕工事費であります。

意見として補正計上した処理施設等修繕工事については、故障原因を十分調査し、予算の執行に留意してもらいたいというものがありました。

○議案第百四号 平成二十年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第二号)について

既定の歳入歳出予算の総額に七千三十四万七千円を追加するというものであります。

追加の主なものは、給付準備基金積立金及び国県支出金等過年度分返還金であります。

○議案第百五号 平成二十年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)について

既定の歳入歳出の総額から、それぞれ百四十五万六千円を減額するというものであります。減額の主なものは、職員人件費であります。

○請願第六号は、三年毎の介護報酬の改定時期となる平成二十一年四月に向けて、介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制

度の改善を関係機関に求める請願であります。

○請願第八号は、薬害C型肝炎被害者の特措法による救済、すべてのウイルス性肝炎患者の救済を図ることを国会と政府に求める請願であります。

産業経済委員会

本委員会に付託されました案件は、議案三件でありました。

十二月十日に開催し、慎重に審査いたしました。三件とも原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第六号 平成二十年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第一号)については、退職者の増に伴う退職給付金の増額を含む職員人件費の増減による補正であります。

○議案第七号 平成二十年度小千谷市水道事業会計補正予算(第一号)については、人事異動等に伴う職員人件費の増減額、塩殿地区の簡易水道設備減価償却費の増額による補正であります。

○議案第八号 平成二十年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第一号)については、

人事異動等に伴う職員人件費の増減額による補正であります。

市政の内容を聞く 一般質問

子供無保険問題と 新型インフルエンザ 対策について

川上 直栄 議員

質問 国民健康保険法の改正により、一年以上保険料を滞納した世帯からは保険証の返還を求め、資格証明書の交付を自治体に義務付けた。国民健康保険法は世帯一律を原則としており、親だけの返還を認めていないが独自にそうした措置を講じる自治体が増えつつあるとも報じられている。証明書が発行された場合は医療機関でいったん全額負担となることから受診抑制につながるなどの懸念が広がっており、

り、現下の厳しい経済、雇用情勢の中で滞納者が増えることが心配される。引き続き子供が無保険とならないよう未成年者の返還を求めない方針とすべきと考えらるが。

答弁 資格証明書の発行世帯はあるが十八才未満の子供の発行世帯は一件も無く、今後も発行にあたっては個々の事情を勘案して一件ごとに審査を行い、子供の受診抑制につながらないよう対応していきたい。

質問 新型インフルエンザH5N1型についてWHOや専門家の間で大流行は「時間の問題」との共通認識のようです。二十世紀に世界的に大流行したインフルエンザは弱毒性であったが、新型は強毒性であり仮に大流行した場合、国内だけでも最大で六十四万人もの死者が出ると予測している。市として情報の周知をどのように進めようとしているのか。また大流行を想定した具体的な計画はあるのか。

答弁 「市のホームページ」や「市報おぢや」で伝えると共に広報車や防災無線の活用なども想定される。県の行動計画が完成次第、組織体制の整備に取り組みと共に「行動計画」を策定したいと考えている。

緊急経済対策、国保資格証明等について

佐藤 隆一 議員

質問一 緊急経済対策についてアメリカ発の世界同時不況が来年度予算、市内経済に及ぼす影響は？緊急融資制度の実績及び追加対策の必要性は？

答弁 全業種の五十%以上で売り上げ減少し、六十五%が今後悪くなると予測。来年度三億円の市民税が減収と予想される。緊急融資は五十七件七億六千五百五十万円と予想を超える申請があった。追加対策は資金需要をふまえて拡充したい。

質問二 国保資格証明について国保法(後期高齢者医療)では一年以上の滞納者から保険証取り上げが合法とされている。実際には、子供世帯は返還求めない(燕など)、滞納世帯から返還求めない(加茂など)など対応は様々で、負担の公平性で実施するには無理がある。小千谷市の現状は？県は子供への保険証交付の法改正を国に求めた。後期高齢者医療での実施迫っているが、資格証廃止すべきでは。
答弁 資格証発行世帯は三十五世帯四十六名。窓口での相談や

納税意思の確認の制度。個別審査で対応し、廃止は考えていない。

質問三 放課後子供プラン

全ての児童を対象とする放課後子供プランの小千谷における進捗状況は？児童の健全育成にとつて子供集団の自由な遊び場、発達の場の確保は喫緊の課題だが小千谷市はどう考えるのか。

教育長答弁 放課後子供教室は平成二十一年度からモデル事業として取り組み、学童保育との連携を図り実施したい。学校はもちろん地域集会施設や広場の活用など、地域ボランティアの協力を得て成長の場を確保し、異年齢集団のかかわりを進めたい。



地域産業資源活用事業の促進、錦鯉の稚魚池

風間 順一 議員

一、「地域産業資源活用事業の促進について」

質問一 認定を受けることにより補助事業が期待できる。錦鯉や牛の角突き、片貝まつり等追加認定すべきと考えるが、その後の取組みと経過について伺う。

答弁一 県の基本構想に認定されている当市の資源は、小千谷縮・紬を初め、農林水産品を含めて十三の資源となっております。当市には、錦鯉、牛の角突きを初め文化財、自然の景勝地など、他にも認定されていない優れた地域資源が多くあるが、関係団体から事業実施の申込みがあった時点で、県と事前協議を行い、迅速かつ効率的な認定手続きを行っている。事業の進に向けて市報おぢやによる周知のほか、商工会議所等関係機関と連携し、PRに努めていく。二、「錦鯉の稚魚池について」

質問一 二年後の延長は可能か。
答弁一 今年四月に延長申請したが多数の資料提出が求められようやく延長許可にこぎつけた

のが実情、再延長については現在のところ不明である。

質問二 用途地域の見直しで農用地除外はできないか。

答弁二 現在「小千谷市都市計画マスタープラン」に土地利用計画の記載はない。今後、具体的な検討をし、必要があればマスタープランに記載した上で用途地域指定することとなる。

質問三 特区申請の結果はどうか。

答弁三 「農地を養鯉池にする際の転用の緩和措置」という新メニューの提案を内閣府を介して農林水産省へ意見を述べたが認められなかった。錦鯉は当市の大切な産業、今後とも国県に柔軟な運用を働きかけていく。

防災公園・拠点施設等の建設計画について

山賀 一雄 議員

質問 中越大震災から早四年が経過したが、震災は二度とないように願っている。万が一発生した場合、大震災での教訓・体験を不測の事態に対処できるように活かさなければならぬ。

市は、昨年十一月に地域防災計画を見直し、防災まちづくりを進めており、三月の議員協議会

に、旧北陸農業試験場跡地を防災公園・防災まちづくり拠点施設等の建設予定地として購入したいと提案された。九ヶ月近く経過した今日、国との協議を踏まえて、①用地は広大な面積であり、取得価格も財政運営に大きく影響する。国との協議では取得価格はどのような状況か、また取得時期はいつか。②建設計画の内容と建設時期について。

③拠点施設に対して市街地密集地における副次的施設の整備予定について質問する。

答弁 ①平成二十二年度購入の要望としているが、国の手続き上、国有財産地方審議会に諮り具体的な計画内容等が審議されることとなっており、平成二十一年秋頃に開催予定の審議会に委ねられる。価格については、周辺地価は下がっているものの、評価金額に変動がないとの見解である。②購入した翌年度から年次計画で整備したい。内容としては、公園機能として一時及び広域的避難場所・応急仮設住宅建設用地・ヘリポート等の整備、拠点施設として備蓄物資倉庫・避難所兼集会施設・地域防災センター等が考えられる。③市街地内におけるオープンスペースの確保は防災対策上有効であ

ると認識しているが、事業の優先度から当面、既存施設の耐震化等を重点施策として実施していく。

不況対策についてなどの十点を質す

安達 稔 議員

質問一 「不況対策」①市内の企業の状況はどうか。②市民生活を守る対策は。③家計支援の施策は。

答弁一 ①受注・売上が減少傾向にあり、厳しさが増すと考えている。②資金繰りを支援し、従業員の生活安定につなげたい。

③要援護世帯の支援に努める。

質問二 「雇用情勢」①当市の非正規雇用はどれくらい。②市としての雇用対策はどのように。

答弁二 ①把握していない。②関係機関と対応してまいる。

質問三 「新年度予算」①本年の税収と今後の見通しは。②長期計画などへの影響は。

答弁三 ①本年は減額一億九千万円をお願いする。②策定のなかで考慮したい。

質問四 「新年度予算編成の特徴は」①セーフティネットはどのように。②どのような特徴か。

答弁四 ①緊急性のもから出

す。②公約にそって。
質問五 「自殺防止」①当市も多い年で二十四人。「自殺防止」の取り組みは。

答弁五 関係機関、団体と連携を図る。

質問六 「定額給付金について」①当市には約六億一千万円が支給される。市内で消費されるよう図るべき。

答弁六 ①地域経済に影響があることを願う。

質問七 「妊婦健診無料化の拡大」①新経済対策では十四回まで。当市も拡大に努めるべきと考えるか。

答弁七 ①慎重に検討したい。

質問八 「無保険の子どもの取り扱い」①国において改正国保法が成立し来年四月から実施される。それまでの対応は。

答弁八 ①個々の事情によって対応していきたい。

質問九 「道州制」①どのような形になっているか。

答弁九 ①現段階では具体的にない。

質問十 「パナソニック・サンヨーの合併について」①大変重要なこと。存続するよう努力を。

答弁十 ①継続発展するよう極力協力したい。

低炭素社会の 取組みについて

駒井富士夫 議員

質問 七月開催の洞爺湖サミットは地球温暖化問題で「二〇五〇年までに温室効果ガスを半減」と首脳宣言を発表した。

国もその目標に沿って、環境モデル都市の選定、バイオエタノール計画の推進、ハイブリッド車の普及、自然エネルギーの開発等様々な施策を打出した。わが市でもこの問題に積極的に取り組むべきと現在と将来について考察した。

かつてはこの家庭でも生ゴミは堆肥として積重ねられ、翌年肥料として使用されていた物が現在ゴミ箱に出されて燃やしている。この生ゴミを堆肥として利用できないか。バイオガスとして長岡市では取組まれているが当市ではどうか。

回答 市では、小千谷市環境基本条例に基づいて、節電、節水、クールビズ、ノーマイカーデー、

古紙分別回収、資源物リサイクル等取組んでおります。

生ゴミの堆肥化は、生ゴミの減量化に必要と認識しておりますが、堆肥の活用を含めた仕組みの検討が必要です。バイオマスの活用については、当市規模での採算性が問題です。技術の開発を待って、検討したい。

バイオエタノールについては、食料と競合しない原料で燃料が出来れば素晴らしいことです。研究機関が進めております実用化に向けた研究の成果が、一日も早く発表されることを期待しております。



未婚化晩婚化対策・ 地域振興支援職員 制度について

田中 淳 議員

質問 全国的に懸念されている未婚化、晩婚化に対しての現状認識と他自治体の方策に対する考え。また小千谷市独自の方策について問う。

回答 全国的な傾向であると思いますが、市内においても結婚適齢期でありながら独身の方が



多いのは認識をしている。また、各自自治体などでお見合いパーティー等が試みられているが、さしたる効果が上がっていないのが現状であると認識をしている。

小千谷市といたしましても平成二十一年度から「結婚サポートセンター」のような機関を設置し、若い人達の考えや、いろん

な人の意見を聞きながら結婚支援事業に取り組んでまいりたいと考えております。

質問 震災後、地域振興支援職員を配置されている三地区は疲弊の一途をたどる中山間地域にとつて、地域力低下防止の先鞭の面から見るに大いに評価をされております。この地域振興支援職員制度についての現状認識と、今後どのように継続されていかれるご所存か問う。

回答 この制度は関前市長時代から始まり十年が経過し、地域活性化のために一定の成果をあげてきたものと考えております。今後のあり方として、地域振興支援職員制度十年目を機会として、改めて過疎対策、中山間地対策を検討する必要があると思えます。その中で、国の支援を受けられる集落支援員制度の導入、或いは中越大震災復興基金の利用等も含めた検討が必要と考えております。



中心市街地活性化対 策について

中山 俊雄 議員

質問一 中心商店街の土地の路線価格の下落幅が大きい。郊外立地も大きな要因と考える。固定資産税の減収につながるのではないか。

回答一 路線価格の変動は経済環境の変化の結果であり致し方ないものとする。

市全体の土地に係る固定資産税額は平成十八年度と比較して増収になるものと推定している。

質問二 本市では、効率が悪くなったからといって閉店してしまつたスーパーが数店あつた。地域住民は苦い経験をしている。新たに郊外大型流通店の出店計画があつた場合、まちづくりの視点から何らかの方策を考えるべきと思うが。

回答二 大型店の出店は、商店街に対する影響は大きい。一方市民は生活上便利であるし、市外からの買い物客の流入により、市の活性化に貢献している。具体的な出店計画にあつては、その大型店が市全体にとってマイナスの効果を与えることが明らかであり、また、大型店

の出店が法的に規制可能であれば適正に対応してまいりたい。

質問三 これからの時代、コンパクトで効率の良い、環境や人に優しい中心市街地の再生を図ることが極めて重要な政策課題と考えるが。

答弁三 地域住民や商店街が知恵を出し合って計画をまとめることが重要。行政も必要に応じて支援してまいりたい。

質問四 「まちづくりは人づくり」と言われているが市として人材育成についてのお考えは。

答弁四 市民はもとより、団体・グループ・企業の方々からも参加いただき、まちづくりの良き理解者・推進者を育成するセミナーを計画したいと考えている。

耕作放棄・老朽アパート・元中子遺跡調査

西沢 代三 議員

質問一 中山間地域の農地の減少防止対策について、食糧生産、林業、環境保全等の中山間地域の大きなエネルギーの開発に力を入れるべきである事を前提に

ある③遊休農地の復元等に対し借手の補助金制度化に力を入れるべきである。

答弁一 国は農地を守る受け皿「集落営農組織」に力を入れており、農業生産法人にと発展することが有利であると思います。

質問二 東小千谷地域のJRAアパートは、市営住宅に再利用(借用)されて来たが、老朽施設と化したので撤去話が出ているようである、その実態はどうか。

答弁二 建築してから二十六年から三十五年を経過しており、下水道の接続や火災報知器の設置など多額の費用を要することから、現入居者(二十四戸)の意向調査をしながら、契約延長をJRAと協議中であります。

質問三 元中子遺跡調査は一万年以上も前の縄文草創期の出土品や火焔土器の破片の発見もあるが、元中子式火焔土器の完形品化への発達は期待できるのか。東小六年生もいい汗を流して、軽作業に貢献した。

教育長答弁三 柱住居の穴跡、食糧貯蔵穴跡、人骨の破片が入った高さ七十センチメートル級の

大きなカメラなどが出土しました。調査報告書を作成中であり、三月中にはその成果を公表する予定です。



企業の雇用実態の掌握と雇用継続その他

風間 健一 議員

《病後児保育》

質問 当市の病後児保育の利用は五件。長岡では医療機関委託型等で、多くの子育て世代が利用しています。当市でもわんぱくで病後児預かりを実施しては？

答弁 児童が多く集まり感染リスクが高まる。依頼・提供会員宅による病後児預かりが現実的な選択と考える。

質問 未曽有の景気悪化を理由に非正規労働者の大量解雇をすすめている大企業ほとんどは、

利益もあげ、株主への配当も減らさず、巨額の内部留保も持つており、人員削減の根拠はありません。また大量解雇は、雇用破壊と景気悪化の悪循環をもたらします。これを放置するならば、日本経済を土台から破壊してしまします。個々の企業にとっても、短期的な利益を確保したとしても、中長期的には自らの存立の基盤を崩し、先がなくなってしまう。安定した雇用の確保こそ、最大の景気対策であります。小千谷市は、企業に対し雇用実態や、派遣や期間工切りなどの人員削減計画の有無などを掌握し、「整理解雇の四要件」を遵守するよう、企業に直接要請すべきと考えるが？

《国保税の申請減免の拡充を》

答弁 ハローワーク等の関係機関との連携を図り対応したい。

質問 市民の医療保険をめぐる状況も一段と厳しさを増しています。小千谷市の国保税の申請減免に地方税法第七一七条の、「貧困に困り公私の扶助を受けている者」等の事由を付け加えていただきたい。

答弁 「公私の扶助を受けている者」について個別の実情に応じて減免の判断をするが、減免事由の拡大はしません。

民間感覚にたつた改革を

宮崎 悦男 議員

平成の大合併で小千谷市は自立を選択。それは改革を外に委ねるのではなく自らを律し、自ら改革をしていくという意思表示であり、あわせて、市民にも協力をいただけるようリーダーシップをとっていかなければならぬと考える。震災復旧に一定の目処がたちつつある今こそ改革を。

質問 組織が十年來ほぼ変わっていない。効率的で、且つ市民に分かりやすい課の再編成、機構改革をする必要がある。

答弁 中越大震災からの復旧を最優先課題としてきて機構改革に着手できなかった。組織の再編等の必要性については十分認識しており、検討を進めている。

質問 組織改革と同時に、より効率的、効果的な行政経営が求められる。全国の市区約六十%、県内十四市が行政評価システムを導入している。当市も導入する必要があるのでないか。

答弁 限られた行政資源を有効かつ効果的に活用するためにも、これまでの行政運営を見直し、

市民本位の仕組みが必要。行政評価システムが有効な手段と考え、取り組み始めたところ。二十一年度に課題を整理、二十二年度から本格的に導入したい。

質問 民間感覚にたった人事評価と意識改革は、より大切と考える。明日を担う職員に必要な資質は何か。試行中の人事評価

行政視察報告

総務文教委員会

平成二十年七月八日～十日

宮城県登米市立豊里小・
中学校行政視察報告

宮城県登米市

豊里小・中学校は、平成十六年度より小中一貫教育に取り組んでいる。平成十八年度には小学校・中学校で一人校長体制となり、その間、旧豊里中学校に校舎を増築し、平成十九年度から校舎一体型小中一貫教育校としてスタート。平成二十一年度に全ての移行が完結し、完全実施となる。

豊里の小中一貫教育はエリートを育成するための特殊な学力向上策ではなく、あくまでも基

制度の早期導入を。

答弁 理想とする職員像は、常に問題意識と改革・改善の気概を持ち、市民の声に耳を傾けながら、真に求められるサービスを提供する職員。人事評価制度は重要な制度と認識している。二十一年度から本格導入するよう指示した。

礎学力を向上させることを目的とし、併せて、九年間の異年齢集団での生活を通して社会性を育成することを目的としている。現在の六・三制が「小四の壁」と言われる十歳前後の急激な脳の発達や、「中一ギャップ」と言われる小学六年から中学一年にかけての認知心理上の急激な変化に対応していないこと、現在の学習指導要領が示す内容が地区の子どもたちの実態に適合していないことなどの理由から、

弾力的なカリキュラムの実施や指導法の開発等によって、知力を基盤とした確かな基礎学力の醸成を図っていくことを目指している。

○感想

いじめがあった場合、九年間続く可能性がある。校舎の統合に伴い通学距離は10kmになり、スクールバスを運行しているが、

小学低学年には負担が大きいのではと感ずる。また教育目標を百項目にわたり数値目標化している。これらの点を含め、小中一貫教育に携わる現場の教職員の方々の意見を聴きたかったが、その機会がなくて残念であった。かつては一貫校と言えば私立の学校がほとんどであった。しかし、個々の児童の発達に合わせた教育をするためには、小学校と中学校でまったく別な教育をするよりも、一貫性を持たせた教育をした方が良いということと、近年は小学校と中学校の教育を統合した公立の小中一貫校が各地で徐々に開校してきている。しかし小中一貫教育は始まったばかりであり、今後の成果を見守りたい。

かつては一貫校と言えば私立の学校がほとんどであった。しかし、個々の児童の発達に合わせた教育をするためには、小学校と中学校でまったく別な教育をするよりも、一貫性を持たせた教育をした方が良いということと、近年は小学校と中学校の教育を統合した公立の小中一貫校が各地で徐々に開校してきている。しかし小中一貫教育は始まったばかりであり、今後の成果を見守りたい。

職員地域担当制について

山形県上市市

上市市は、『健やか交流都市かみのやま』を将来の都市像として主要事業を推進しているが、総じて少子高齢化が加速し、地域コミュニティが衰退の現状にあり、市と地域・住民との間に分かり易い情報の提供、地域課題の共有、双方向のコミュニケーションを活発にするため、職員

地域担当制を導入している。

設置した地域は、上山を除く旧村地域で、各地域に五名を配置しているが専任ではなく、本来の所属課業務の傍ら時間外の活動が主で、それぞれ『地域まちづくり会議』の一員となつて、地域課題に対応している。

感想として、事前調査の段階では、当市の地域振興支援職員と比較して、地域づくりの取り組みに並々ならぬものを感じていたが、課題も多くあり①具体的な面で「何をするのか」「どこまで地区に拘わるのか」が不明確で、各地区の取り組みがバラバラである。②地区によってはコミュニティが確立されているので、市とのパイプ役が必要である。③配置職員は、本来の所属課業務を行う傍ら、担当地域の活動に当たっていることなどから、所期の目的に達しているとは言い難いと感じた。しかし、発足してから三年目であり問題もあるが、公民館・支所等の業務の見直しと地域担当制の在り方を検討する中で、課題を解決し、地域づくりに担当職員が推進力となるよう期待したいと感じた。

社会土木委員会

士別市は

「高齢者福祉」

滝川市は

「そらぶちキッズキャンプ支援事業」

北海道士別市、滝川市
平成二十年七月一日・二日

◎士別市は昭和二十九年七月に市制今人口は二万二千八百余人、世帯数は九千八百余で、かつては四万人いた人口は三十年で急激に減少し、高齢化率も平成二十年四月には三十九・九%となつた過疎の市である。基幹産業は農業・林業である。平成四年には、ダイハツ工業・ヤマハ発動機のテストコース工事が着手し、現在ではブリジストンなどのタイヤ試験場が新設・拡張され、市の発展に大きく貢献している。高齢者福祉対策事業で特筆すべきことは、一定のバス路線で一定地域の七十四歳以上の老人に対し、無料乗車券を交付しその金額は市費で二千六百万円余となつています。他に低所得世帯で他からの援助が困難である六十五歳以上等の世帯に対し除雪サービスも行っています。他に、敬老会の補助金を一人二千二百

産業経済委員会

円交付していますが、出席率・会場等からこの助成を廃止する方向で検討していました。(他の福祉費へ充てたい)

◎滝川市は人口四万四千余人と年々減収傾向にある。この市は、

石炭から石油を作る人造石油会社が設立され活気に満ちていたが、終戦とともに破産したが、火力発電所・工場・自衛隊の誘致などにより、交通の要衝として順調な歩みを続けています。

「そらぶちキッズキャンプ」と

は、現在日本では約二十万人の子ども達が小児ガンなどの難病を患っているが、国内には難病を受け入れることのできる医療施設の整った自然体験施設はない。そこで、これらの子ども達が大自然に触れ合いながら闘病可能な夢のキャンプ場を作ろうと、想いを同じくする医療や自然療法、難病児支援、造園などの専門家が集まり、平成十六年三月創る会を設立し活動開始。

資金面は全国の個人・企業・団体・法人の会費や寄付金によって賄われるもので、高邁なる取り組みに感銘を覚えた。資金面・ボランティア等課題は山積しているが、成功を祈りたい。

観光振興、農業交流などについて視察

北海道小樽市、深川市、岩見沢市

産業経済委員会は、平成二十年七月十五日〜十七日北海道小樽市、深川市、岩見沢市を視察しました。十五日は市民と行政が一体となった観光振興について小樽市の現状と取り組みについて視察しました。小樽市は「小樽運河」の埋立計画論争が都市再開発計画のもとで行われ、昭和五十四年一部埋立で決着し現在に至っています。毎年七百万人の観光客を迎える全国有数の観光都市小樽は、宿泊割合一割程度という通過観光都市から、宿泊観光都市にどう移行するかという課題をもっています。

そのため行政、関係団体、市民が一体となって魅力的な観光都市へと脱皮するために、「小樽市観光基本計画」を制定し積極的に対応する姿勢は大いに学ぶべきところがあります。また、国交省が平成十五年七月に打ち出した「観光立国行動計画」は、小樽のもつ自然や歴史文化資源を活用する上で決定的な追い風となっております。

議会運営委員会

視察地 富山県小矢部市
期日 平成二十年十月二十七日

小矢部市は富山県の西端に位置しているが、東部には小矢部

川、庄川の両水系に恵まれており、水田稲作の適地にして穀倉地帯である。歴史的には木曾義仲が火牛戦法で平維盛に倶利伽羅合戦で勝利して有名である

昭和二十八年の町村合併促進法に基づいて二町十三村で石動町、砺波町が誕生、昭和三十七年に両町が合併して市制(小矢部市)を施行する。

近年のまちづくりでは、文教施設はもとより三十五を数える代表的な公共施設は、国際情緒豊かなメルヘン風に整備されて全国から注目される。

調査の主題は「議会運営について」であります。内容は①議会運営委員会の構成②委員会の開催時期③一般質問の制限時間④議会運営に関する基本的(十項目)なこと各項目について調査しました。

小矢部市では、歳入歳出の決算審査については正副議長(新旧)監査委員(新旧)の役職は同審査には所属せず、その他の

議員により特別委員会を設置して審議を尽くすこととしており、話題になりました。

また、地方分権一括法が狙いとする、自己決定、自己責任が拡大されている事をチャンスに「議会改革特別委員会」を設置、①民意を反映するための環境づくり②議員個々のレベルアップ③議会の活性化三点をテーマに各種団体との懇談会を通して、市民の意見を聴取するなど、八項目について議会改革案をまとめて市長に建議する一方、これを指針に議会の改善に取り組んでおります。

○開かれた議会運営についても女性議会(模擬)を二年に一回の企画で開会しています。議員定数(十七名、欠員一名)と同数の女性代表を公募で選出しており、身近かな問題をテーマに一般質問形式で運営しており、市民の関心は良いとのことであります。

○大谷中学校の建築様式Ⅱ本体の塔屋は東大の安田講堂、正面は東大教養学部をモデルにした、地方では夢のようなデザインであります。その他メルヘン風の建築デザインについては市民の文化意識の高揚が目的とのこと

議事日誌

10月～12月

〈10月〉

- 1日 埼玉県鴻巣市議会行政視察に来市
- 8日 議会報編集委員会
- " 神奈川県鎌倉市議会行政視察に来市
- 10日 水仙クラブ行政視察に出発(福島県北塩原村)
- 15日 議会報編集委員会
- 16日 静岡県焼津市議会行政視察に来市
- 20日 千葉県木更津市議会行政視察に来市
- " 中越地区3市議会議長会(長岡市)
- 21日 北信越市議会議長会総会に代わる評議員会(富山市)
- 22日 千葉県流山市議会行政視察に来市
- 27日 議会運営委員会行政視察に出発(富山県小矢部市)
- " 山形県南陽市議会行政視察に来市
- 28日 長崎県平戸市議会行政視察に来市
- 29日 長野県立科町議会行政視察に来市
- 31日 議会運営委員会第一回臨時会

〈11月〉

- 4日 茨城県笠間市議会行政視察に来市
 - 7日 大阪府河内長野市議会行政視察に来市
 - " 社会土木委員協議会
 - 21日 中越地区市議会議長会(小千谷市)
 - 25日 議員協議会
 - " 東京都瑞穂町議会行政視察に来市
 - 27日 議会運営委員会
- ## 〈12月〉
- 4日 第四回定例会(本会議)
 - " 議会報編集委員会
 - 5日 三常任委員会連合審査会
 - 8日 総務文教委員会
 - 9日 社会土木委員会
 - 10日 産業経済委員会
 - " 産業経済委員協議会
 - " 福島県下郷町議会行政視察に来市
 - 18日 議会運営委員会
 - " 本会議(第二日)
 - 19日 本会議(第三日)
 - " 議員協議会
 - " 議会報編集委員会
 - 24日 議会運営委員会
 - " 本会議(第四日)



34



田中 諭

(上ノ山 丁目)

我が家には、あの四年前の中越地震で生き残った一匹の金魚が今も生きています。私は地震時は家内の実家に行っていて留守にしていた。私が自宅に戻って来たのは地震発生後、二日経ってからだった。自分の頭の中では家の中はメチャクチャで、もちろん水槽は倒れ中の金魚は全滅と思っていたが、ところが奇跡的にも水槽は倒れておらず、その当時飼っていた三匹の金魚は全て無事だった。残念な事にその後しばらくして二匹の金魚は死んでしまった。ちなみに生き残った金魚の名前は「デブ」と言う。金魚のありのままの姿を名前にした。その後、一匹では可愛そうだという事もあり、二匹の金魚を買ってきて一緒に水槽に入れたが二匹の金魚はまもなく死んでしまった。その後子供が祭りで取ってきたメダカ

十匹を同じ水槽に入れて飼っていたが、ある日気が付くと十匹いたメダカが日に日に少なくなっているような…。なんと我が家のデブ金魚は十匹いたメダカを全て完食してしまった…。

この時は驚きというか、悲しいというか…。言葉が見つからなかった。それに水槽の水が汚れてくると、デブの動きが鈍くなり、いかにも私達に『早く水槽の掃除をしろ』と言っている態度を取る。水槽掃除が終わるとそれは別人の様に元気良く泳ぎ回る。とにかくこのデブ金魚の話題には事欠かない。

正直飼いはじめた頃は、あまり長生きはしないものだと思込んでいたが、今は一日一日を無事に長生きしてもらいたいと思う。あの地震を一緒に乗り越えたある意味家族なのだから…。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新年に入りましてから例年に比べますと温暖な日が続いております。

今年も恒例の「さいの神」の時期が参りました。十五日にいくつかの地域で行われると伺っておりますが、十一日、十二日に行われた地域が多かったようです。例年ですと、この「さいの神」までには雪も積もり、土台作りに雪不足ということが有りませんでした。が、いくつかの地域では業者をお願いしてダンブで雪を運んでいただいたと伺っております。これも地球温暖化の表れでしょうか。

昭和三十年代半ばまでは、市内ほとんどの地域で子供たちが、各家を回り、正月のしめ飾りを集めたこと記憶しております。その時に各家からお年玉やお菓子、果物をいただいたものでした。「さいの神」の火で焼いたスルメ、餅等を食べると無病息災で過ごせると言われております。皆様の無病息災をお祈りいたします。